

## 1. 化学品及び会社情報

### 1.1. 製品特定名

#### 製品名

**LIZARD SKIN**

### 1.2. 化学品の関連する特定された用途、及び使用しないように勧告されている用途

#### 関連する特定された用途

塗装。

#### 使用しないように勧告されている用途

情報なし。

### 1.3. 安全データシート供給者の詳細

#### 製造者

CHEMCO d.o.o.

住所：Tržaška c. 132, 1000 Ljubljana, Slovenia

電話：+386 1 423 2900

メール：info@chemco.si

### 1.4. 緊急連絡電話番号

112

+386 1 423 2900

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. 化学品の分類

#### 規則 (EC) No 1272/2008 (CLP) に基づく分類

引火性液体 3；H226 引火性の液体及び蒸気。

誤えん有害性 1；H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

皮膚刺激性 2；H315 皮膚刺激を引き起こす。

皮膚感作性 1；H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。

眼刺激性 2；H319 重度の眼刺激を引き起こす。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 3；H335 呼吸器刺激を引き起こすおそれ。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 3；H336 眠気又はめまいを引き起こすおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 2；H373 長期又は反復ばく露により臓器に障害を引き起こすおそれ。

水生環境有害性 長期（慢性） 2；H411 長期継続的影響により水生生物に毒性。

## 2.2. ラベル要素

### 2.2.1. 規則 (EC) No 1272/2008 [CLP] に基づくラベル表示



注意喚起語：危険

H226 引火性の液体及び蒸気。

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H315 皮膚刺激を引き起こす。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319 重度の眼刺激を引き起こす。

H335 呼吸器刺激を引き起こすおそれ。

H336 眠気又はめまいを引き起こすおそれ。

H373 長期又は反復ばく露により臓器に障害を引き起こすおそれ。

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

P102 子どもの手の届かない所に保管する。

P210 熱、高温の表面、火花、裸火などの着火源に近づけないこと。禁煙。

P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/眼の保護具/顔の保護具を着用する。

P301 + P310 + P331 飲み込んだ場合：直ちに毒物センター/医師に連絡する。無理に吐かせないこと。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：大量の石鹸と水で洗う。

P304 + P340 吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗い続ける。

P501 国の規制に従い内容物/容器を廃棄する。

### 2.2.2. 含有物：

キシレン (CAS : 1330-20-7、EC : 215-535-7、索引 : 601-022-00-9)

ソルベントナフサ (石油)、軽質芳香族 (CAS : 64742-95-6、EC : 265-199-0、索引 : 649-356-00-4)

アセトン (CAS : 67-64-1、EC : 200-662-2、索引 : 606-001-00-8)

セバシン酸ビス(1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピペリジル)とセバシン酸メチル1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピペリジルの反応生成物 (CAS : 1065336-91-5、EC : 915-687-0)

### 2.2.3. 特別な注意事項

既知の特別な危険有害性はない、又は特別な危険有害性はないと考えられる。

## 2.3. その他の危険有害性

情報なし。

## 3. 組成及び成分情報

### 3.1. 化学物質

混合物については3.2項を参照。

製品名：LIZARD SKIN

作成日：2020年5月6日・改訂日：2020年5月11日・バージョン：1

## 3.2. 混合物

名称	CAS EC 索引	%	規則 (EC) No 1272/2008 (CLP) に基づく分類	固有の濃 度限界	REACH登録番号
キシレン <sup>[C]</sup>	1330-20-7 215-535-7 601-022-00-9	0~10	引火性液体 3 ; H226 誤えん有害性 1 ; H304 急性毒性 4 ; H312 皮膚刺激性 2 ; H315 眼刺激性 2 ; H319 急性毒性 4 ; H332 特定標的臓器毒性 (単回 ばく露) 3 ; H335 特定標的臓器毒性 (反復 ばく露) 2 ; H373		-
ソルベントナフサ (石油)、軽質芳香族 <sup>[P]</sup>	64742-95-6 265-199-0 649-356-00-4	0~10	引火性液体 3 ; H226 誤えん有害性 1 ; H304 特定標的臓器毒性 (単回 ばく露) 3 ; H335 特定標的臓器毒性 (単回 ばく露) 3 ; H336 水生環境有害性 長期 (慢 性) 2 ; H411 EUH066		01-2119455851-35
ビスオルトリン酸三亜鉛	7779-90-0 231-944-3 030-011-00-6	0~10	水生環境有害性 短期 (急 性) 1 ; H400 水生環境有害性 長期 (慢 性) 1 ; H410		-
アセトン	67-64-1 200-662-2 606-001-00-8	0~10	引火性液体 2 ; H225 眼刺激性 2 ; H319 特定標的臓器毒性 (単回 ばく露) 3 ; H336 EUH066		-
酢酸2-メトキシ-1-メチルエチル	108-65-6 203-603-9 607-195-00-7	0~10	引火性液体 3 ; H226		-
セバシン酸ビス(1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピペリジ ル)とセバシン酸メチル1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピ ペリジルの反応生成物	1065336-91-5 915-687-0 -	< 0.5	皮膚感作性 1A ; H317 水生環境有害性 短期 (急 性) 1 ; H400 水生環境有害性 長期 (慢 性) 1 ; H410		-

## 化学物質に関する注記：

<b>C</b>	一部の有機物質は、特定の異性体の形態で、又は複数の異性体の混合物として販売されている場合がある。 この場合、供給者は当該化学物質が特定の異性体又は異性体の混合物であるかどうかをラベルに記載しなければならない。
<b>P</b>	発がん性物質又は変異原性物質としての分類は、物質に含まれるベンゼン (EINECS番号200-753-7) が0.1w/w%未満であることを示せば、適用する必要はない。 物質が発がん性物質として分類されない場合は、少なくとも注意書き (P102-) P260-P262-P301 + P310-P331を適用するものとする。 この注記は、3項の特定の石油由来複合物質にのみ適用される。

## 4. 応急措置

### 4.1. 応急措置の説明

#### 一般的な注意事項

事故が生じた場合、又は気分が悪くなった場合は、直ちに医師の診察を受ける（可能であれば当該ラベルを見せる）。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。被災者を回復体位にして、気道を開存させる。

#### 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動する（危険区域から移動する）。症状が生じて持続する場合は、医師の手当てを受ける。呼吸がない場合、呼吸が不規則な場合、又は呼吸停止が生じた場合は、訓練を受けた者が人工呼吸又は酸素吸入を行う。専門家による医療救助を得ること！意識がない場合は、被災者を安定した側臥位にして医師の手当てを受ける。

#### 皮膚に付着した場合

汚染された衣服をすべて脱ぐ。皮膚の被災した部分を大量の水と石鹸でよく洗う。症状が生じて持続する場合は、医師の手当てを受ける。

#### 眼に入った場合

直ちに眼を開いて流水で眼を洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗い続ける。刺激が持続する場合は、専門の医師の手当てを受ける。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと！嘔吐により肺の誤えんが生じるおそれがある。嘔吐が起きた場合は、誤えんの可能性を低くするために、被災者は頭を腰よりも低く保つ必要がある。口を水で十分にすすぐ。直ちに医師の診察を受ける。当該安全データシート又はラベルを医師に見せる。

### 4.2. 最も重要な急性及び遅発性の症状/影響

#### 吸入

蒸気は眠気及びめまいを引き起こすおそれがある。

症状には、頭痛、めまい、疲労、筋力低下、眠気などがあり、極端な場合には意識不明がある。

呼吸器系の刺激を引き起こす可能性がある。

咳、くしゃみ、鼻汁、呼吸困難。

規定された職業ばく露限界を超えて高濃度の成分溶媒蒸気にばく露すると、粘膜及び呼吸器系の刺激、腎臓、肝臓及び中枢神経系に対する有害な影響などの有害な健康影響をもたらすおそれがある。

#### 皮膚への付着

かゆみ、発赤、痛み。

皮膚への付着により感作を引き起こすおそれがある（症状：かゆみ、発赤、発疹）。

当該化学品への反復又は長期の接触により、皮膚から天然油脂が除去され、非アレルギー性接触皮膚炎が生じるおそれがある。

#### 眼への付着

充血、流涙、痛み。

#### 摂取

肺への誤えんは咳、息切れを引き起こし、化学性肺炎をもたらすおそれがある。

悪心/嘔吐及び下痢を引き起こすおそれがある。

腹部不快感を引き起こすおそれがある。

### 4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

## 5. 火災時の措置

### 5.1. 消火剤

#### 適した消火剤

現場の状況及び周囲の環境に適した消火手段を用いる。二酸化炭素。粉末消火剤。水噴霧。耐アルコール泡消火剤。

### 使ってはならない消火剤

完全な棒状水。

## 5.2. 化学品から生じる特別な危険有害性

### 危険有害な燃焼生成物

火災時に有毒ガスが発生する可能性がある。ガス/煙を吸入しないこと。

## 5.3. 消火を行う者に対する注意事項

### 保護措置

火災時には現場から退避させる。火災又は加熱の際には、ヒューム/蒸気を吸入しないこと。危険な状態の容器は水噴霧で冷却する。可能な場合は、容器を危険区域から移動する。

### 消火を行う者の特別な保護具

消火を行う者は、消火を行う者のための適切な防護服（ヘルメット、保護ブーツ、手袋を含む）（EN 469）及び全面型の自給式呼吸器（SCBA）（EN 137）を着用する必要がある。

### その他の情報

汚染された消火水は、規制に従って処理しなければならない。下水道に流入させないこと。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

#### 6.1.1. 非緊急時対応要員に対する注意事項

##### 保護具

個人用保護具（8項）を使用する。

##### 緊急時措置

十分な換気を確保する。着火源及び熱源に近づけないこと。禁煙！ 人員を退避させる。保護具を着用していない者の侵入を防ぐ。蒸気又はミストを吸入しないこと。皮膚及び眼への付着を避ける。裸火は使用せず、あらゆる着火源を近づけないこと。

#### 6.1.2. 緊急時対応要員に対する注意事項

個人用保護具を使用する。

### 6.2. 環境に対する注意事項

化学品が水域/排水管/下水道又は透水性土に到達しないようにする。事故により水域又は地面に大量に流入した場合は、関係機関に連絡する。

### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

#### 6.3.1. 封じ込めについて

安全に行える場合は流出をせき止める。

#### 6.3.2. 浄化について

（不活性物質を使用して）化学品を吸収し、特別な容器に集め、認可を受けた危険有害廃棄物処理業者に引き渡す。火花を発生させない工具を使用する。漏出現場は十分な換気を確保する。適切な個人用保護具を着用する。適切な規制に従い廃棄する（13項参照）。

#### 6.3.3. その他の情報

-

### 6.4. 他の項目の参照

8項及び13項も参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いのための注意事項

#### 7.1.1. 保護措置

##### 防火措置

十分な換気を確保する。着火源に近づけないこと - 禁煙。火花を発生させない工具を使用する。静電気放電に対する予防措置をとる。裸火及びその他の着火源又は熱源から保護する。器具は適切に接地する。蒸気と空気で爆発性混合物が形成される。

##### エアロゾル及び粉じんの発生の防止対策

蒸気及びエアロゾルの吸入を防ぐために、全体換気又は局所排気装置を使用する。

##### 環境保護対策

下水、地表水、及び土壌に放出しないこと。使用後は直ちに容器をしっかりと閉める。

#### 7.1.2. 一般的な労働衛生に関する注意事項

休憩時及び化学品の取扱い終了時には手を洗うなど、個人の適切な衛生慣行を行う。作業中は飲食又は喫煙をしないこと。皮膚、眼、衣服への付着を避ける。蒸気/ミストを吸入しないこと。適切な保護具を着用する（8項参照）。ラベルの指示及び作業中の安全衛生に関する規制を参照すること。本化学品は食用ではない。摂取しないこと！

### 7.2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

#### 7.2.1. 技術的措置及び保管条件

地域の規制に従い保管する。しっかりと密閉した容器に保管する。乾燥した涼しく換気の良い場所で、混触危険物質から離して保管する。裸火、熱、及び直射日光から保護する。飲食物及び動物飼料に近づけないこと。酸化性物質に近づけないこと。

#### 7.2.2. 包装材料

製造者からの元の容器。

#### 7.2.3. 保管室及び容器に対する要求事項

開封した容器は使用後密閉する。容器は漏れないように直立させる。ラベル表示のない容器で保管しないこと。

#### 7.2.4. 保管クラス

-

#### 7.2.5. 保管条件に関する詳細情報

-

### 7.3. 特定の最終用途

#### 推奨用途

-

#### 産業セクター特有の使用法

-

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1. 管理パラメーター

製品名：LIZARD SKIN

作成日：2020年5月6日・改訂日：2020年5月11日・バージョン：1

### 8.1.1. 職業ばく露限界値

名称 (CAS)	制限値		短時間ばく露限界		備考	生物学的耐性値
	mL/m <sup>3</sup> (ppm)	mg/m <sup>3</sup>	mL/m <sup>3</sup> (ppm)	mg/m <sup>3</sup>		
アセトン (67-64-1)	500	1,210	1,500	3,620		
酢酸1-メトキシプロピル (108-65-6)	50	274	100	548	Sk	
キシレン、o-、m-、p-、又は異性体混合物 (1330-20-7)	50	220	100	441	Sk、 BMGV	尿中メチル馬尿酸650mmol/molクレアチニン - 作業後

### 8.1.2. 監視手順に関する情報

BS EN 14042:2003 職場大気。化学物質及び生物剤へのばく露評価のための手順の適用及び使用に関するガイド。BS EN 482:2012+A1:2015 職場ばく露。化学物質の測定手順の実施に関する一般要求事項。BS EN 689:2018 職場ばく露。化学物質の吸入によるばく露の測定。職業ばく露限界値に準拠していることの試験に関する戦略。

### 8.1.3. DNEL/DMEL値

情報なし。

### 8.1.4. PNEC値

情報なし。

## 8.2. ばく露防止

### 8.2.1. 適切な工学的制御

#### 特定された用途におけるばく露を防止するための化学品関連措置

適切な産業衛生及び安全の慣行に従って取扱う。休憩時及び化学品の取扱い終了時には手を洗うなど、個人の適切な衛生慣行を行う。作業中は飲食又は喫煙をしないこと。皮膚及び眼への付着を避ける。蒸気/エアロゾルを吸入しないこと。個人用保護具の選択の際には、化学物質供給者に助言を求める。

#### ばく露防止の組織的措置

汚染された衣服は直ちにすべて脱ぎ、再使用前に洗濯する。洗眼ボトル又は個人用洗眼設備、及び緊急用シャワーを用意する。

#### ばく露防止の技術的措置

適切な換気を行い、濃度の高い場所では局所排気を行う。

### 8.2.2. 個人用保護具

#### 眼及び顔の保護具

側面保護付き保護メガネ (EN 166)。

#### 手の保護具

保護手袋 (EN 374)。手袋の使用、保管、メンテナンス、交換については、製造者の指示に従うこと。破損した場合は摩損の兆候が少しでも見られた場合は、直ちに交換する。適切な手袋の選択は、材質だけでなく、さらに品質のグレードでも決まり、製造者によって異なる。

#### 皮膚の保護具

行動及びばく露の可能性に応じて身体の保護を選択する。足全体を覆う綿製の保護衣及び靴 (EN ISO 20345)。帯電防止保護衣 EN 1149 (1:2006、2:1998、3:2004、5:2008)、帯電防止保護靴 (EN 20345:2012)。

#### 呼吸用保護具

濃度限界値を超える場合は、適切な呼吸用保護具を着用する必要がある。A2-P2フィルター (EN 14387) が付いた適切な呼吸保護マスク (EN 136) を着用する。適用されるフィルター限界を超える粉じん/ガス/蒸気濃度において、酸素濃度が17%未満又は不確かな状況の場合は、規格EN 137、EN 138に従い、自律型の自給式呼吸器を使用する必要がある。

#### 熱危険性

-

### 8.2.3. 環境ばく露防止

#### ばく露防止の指示措置

換気又は作業処理機器からの放出物は、環境保護法の要求事項に適合していることを確認する必要がある。



**ばく露防止の技術的措置**

製品が排水管、下水道、地下水に到達しないようにする。

**9. 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理的及び化学的性質の情報**

-	物理的状態：	液体
-	色：	仕様による
-	臭い：	特徴的

重要な健康、安全、及び環境に関する情報

-	pH	情報なし。
-	融点/凝固点	情報なし。
-	初留点/沸点範囲	情報なし。
-	引火点	情報なし。
-	蒸発速度	情報なし。
-	燃焼性（固体、気体）	情報なし。
-	爆発限界（体積%）	情報なし。
-	蒸気圧	情報なし。
-	蒸気密度	情報なし。
-	密度	情報なし。
-	溶解性	情報なし。
-	分配係数	情報なし。
-	自然発火温度	情報なし。
-	分解温度	情報なし。
-	粘度	情報なし。
-	爆発特性	情報なし。
-	酸化特性	情報なし。

**9.2. その他の情報**

-	備考：	
---	-----	--

**10. 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

データなし。

**10.2. 化学的安定性**

本化学品は、通常の使用条件、推奨される取扱い及び保管条件において安定である。

**10.3. 危険有害反応可能性**

蒸気と空気で燃焼性又は爆発性の混合物が形成される可能性がある。

**10.4. 避けるべき条件**

熱、直射日光、裸火、火花から保護する。



製品名：LIZARD SKIN

作成日：2020年5月6日・改訂日：2020年5月11日・バージョン：1

**10.5. 混触危険物質**

酸化剤。

**10.6. 危険有害な分解生成物**

通常の使用条件では、危険有害な分解生成物は生じないと考えられる。火災/爆発の際には、健康障害をもたらす蒸気/ガスが放出される。

**11. 有害性情報****11.1. 毒物学的影響に関する情報****(a) 急性毒性**

名称	ばく露経路	種類	種	時間	値	方法	備考
ソルベントナフサ（石油）、軽質芳香族（64742-95-6）	経口	LD <sub>50</sub>	ラット		2,000～5,000 mg/kg		
ソルベントナフサ（石油）、軽質芳香族（64742-95-6）	経皮	LD <sub>50</sub>	ウサギ		> 2,000 mg/kg		

**(b) 皮膚腐食性/刺激性**

追加情報：皮膚刺激を引き起こす。

**(c) 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

追加情報：重度の眼刺激を引き起こす。

**(d) 呼吸器又は皮膚感作性**

追加情報：アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。

**(e) (生殖細胞) 変異原性**

情報なし。

**(f) 発がん性**

情報なし。

**(g) 生殖毒性**

情報なし。

**CMR特性評価の概要**

情報なし。

**(h) STOT-単回ばく露**

追加情報：眠気又はめまいを引き起こすおそれがある。呼吸器刺激を引き起こすおそれがある。

**(i) STOT-反復ばく露**

追加情報：長期又は反復ばく露により臓器に障害を引き起こすおそれがある。

**(j) 誤えん有害性**

追加情報：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある。

製品名：LIZARD SKIN

作成日：2020年5月6日・改訂日：2020年5月11日・バージョン：1

## 12. 環境影響情報

### 12.1. 毒性

#### 12.1.1. 急性（短期）毒性

##### 成分の値

化学物質（CAS番号）	種類	値	ばく露時間	種	有機体	方法	備考
ソルベントナフサ（石油）、軽質芳香族（64742-95-6）	LC <sub>50</sub> /EC <sub>50</sub> /IC <sub>50</sub>	1～10 mg/L		魚類			
	LC <sub>50</sub> /EC <sub>50</sub> /IC <sub>50</sub>	1～10 mg/L		水生甲殻類			
	LC <sub>50</sub> /EC <sub>50</sub> /IC <sub>50</sub>	1～10 mg/L		藻類			
	LC <sub>50</sub> /EC <sub>50</sub> /IC <sub>50</sub>	> 100 mg/L		微生物			

#### 12.1.2. 慢性（長期）毒性

情報なし。

### 12.2. 残留性・分解性

#### 12.2.1. 非生物分解、物理化学的及び光化学的消滅

情報なし。

#### 12.2.2. 生分解性

情報なし。

### 12.3. 生物蓄積性

#### 12.3.1. 分配係数

情報なし。

#### 12.3.2. 生物濃縮係数（BCF）

情報なし。

### 12.4. 土壤中の移動性

#### 12.4.1. 環境領域への既知の又は予測される拡散分布

情報なし。

#### 12.4.2. 表面張力

情報なし。

#### 12.4.3. 吸着/脱着

情報なし。

### 12.5. PBT及びvPvB評価の結果

評価は行われていない。

### 12.6. その他の悪影響

情報なし。

### 12.7. その他の情報

#### 化学品についての情報

長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
地下水、水路、下水道に到達しないようにする。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄物処理方法

#### 13.1.1. 化学品/包装の廃棄

##### 廃棄化学物質

適用される廃棄規制に従って廃棄する。廃棄は公的規制に従って行わなければならない。認可を受けた危険有害廃棄物の収集業者/除去業者/変換業者に引き渡すこと。化学品が排水管、下水道に到達しないようにする。

##### 包装

適用される廃棄規制に従って廃棄する。完全に空にした容器を認可を受けた廃棄物処理機関に引き渡す。空の容器は、可燃性である本化学品の残留物及び蒸気が入っている可能性があるため、火災の危険性がある。

#### 13.1.2. 廃棄物処理関連情報

-

#### 13.1.3. 下水処理関連情報

-

#### 13.1.4. その他の廃棄に関する推奨事項

-

## 14. 輸送上の注意

### 14.1. 国連番号

UN 1263

### 14.2. 国連正式輸送品目名

塗料

IMDG名：塗料（ビスオルトリン酸三亜鉛）

### 14.3. 輸送における危険有害性クラス

3

### 14.4. 容器等級

III

### 14.5. 環境有害性

追加のラベル表示：環境に有害

IMDG：海洋汚染物質

### 14.6. 使用者に対する特別な注意事項

#### 数量制限

5L

#### トンネル制限コード

(D/E)

#### IMDG EmS

F-E、S-E

### 14.7. マルポール条約の附属書II及びIBCコードに則ったばら積み輸送

物品をバルクコンテナ、コンテナ、又は車両でばら積み輸送することはできない。



## 15. 適用法令

### 15.1. 化学品に特有の安全、健康、環境に関する規制/法律

- 化学物質の登録、評価、認可及び制限 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006 (最終改正欧州委員会規則 (EU) 2015/830を含む)
- 化学品の分類、表示及び包装に関する規則 (EC) No 1272/2008

#### 15.1.1. 揮発性有機化合物の排出抑制に関する2004/42/ECに基づく情報 (VOCガイドライン)

該当しない。

### 15.2. 化学物質安全性評価

供給者による本化学品の化学物質安全性評価は実施されていない。

## 16. その他の情報

### 変更の表示

-

### 略語及び頭字語

- ATE - 急性毒性推定値 (Acute Toxicity Estimate)
- ADR - 道路による危険物の国際輸送に関する協定 (Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
- ADN - 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 (European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways)
- CEN - 欧州標準化委員会 (European Committee for Standardisation)
- C&L - 分類及び表示 (Classification and Labelling)
- CLP - 分類・表示・包装規則 (Classification Labelling Packaging Regulation) ; 規則 (EC) No 1272/2008
- CAS# - Chemical Abstracts Service 番号
- CMR - 発がん性物質、変異原性物質、又は生殖毒性物質 (Carcinogen, Mutagen, or Reproductive Toxicant)
- CSA - 化学物質安全性評価 (Chemical Safety Assessment)
- CSR - 化学物質安全性報告書 (Chemical Safety Report)
- DMEL - 導出最小影響レベル (Derived Minimal Effect Level)
- DNEL - 導出無影響レベル (Derived No Effect Level)
- DPD - 危険製剤指令 (Dangerous Preparations Directive) 1999/45/EC
- DSD - 危険物質指令 (Dangerous Substances Directive) 67/548/EEC
- DU - 川下ユーザー (Downstream User)
- EC - 欧州共同体 (European Community)
- ECHA - 欧州化学品庁 (European Chemicals Agency)
- EC番号 - EINECS及びELINCS番号 (EINECS及びELINCSも参照のこと)
- EEA - 欧州経済領域 (European Economic Area) (EU+アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー)
- EEC - 欧州経済共同体 (European Economic Community)
- EINECS - 欧州既存商業化学物質インベントリー (European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances)
- ELINCS - 欧州届出化学物質リスト (European List of notified Chemical Substances)
- EN - 欧州規格 (European Norm)
- EQS - 環境基準 (Environmental Quality Standard)
- EU - 欧州連合 (European Union)
- Euphrac - 欧州フレーズカタログ
- EWC - 欧州廃棄物カタログ (LoWに置き換わり - 下記参照)
- GES - 一般的ばく露シナリオ (Generic Exposure Scenario)
- GHS - 世界調和システム (Globally Harmonized System)
- IATA - 国際航空運送協会 (International Air Transport Association)
- ICAO-TI - 危険物の安全な航空輸送に関する技術指針
- IMDG - 国際海上危険物 (International Maritime Dangerous Goods)
- IMSBC - 国際海上固体ばら積み貨物 (International Maritime Solid Bulk Cargoes)
- IT - 情報技術 (Information Technology)
- IUCLID - 国際統一化学物質情報データベース (International Uniform Chemical Information Database)
- IUPAC - 国際純正応用化学連合 (International Union of Pure and Applied Chemistry)

製品名：LIZARD SKIN

作成日：2020年5月6日・改訂日：2020年5月11日・バージョン：1

JRC - 共同研究センター (Joint Research Centre)  
Kow - オクタノール-水分係数  
LC<sub>50</sub> - 試験個体数の50%が死亡する濃度  
LD<sub>50</sub> - 試験個体数の50%が死亡する量 (致死量中央値)  
LE - 法人 (Legal Entity)  
LoW - 廃棄物リスト (List of Wastes) (<http://ec.europa.eu/environment/waste/framework/list.htm>参照)  
LR - 先導登録者 (Lead Registrant)  
M/I - 製造者/輸入者 (Manufacturer / Importer)  
MS - 加盟国 (Member State)  
MSDS - 化学物質等安全データシート (Material Safety Data Sheet)  
OC - 作業条件 (Operational Condition)  
OECD - 経済協力開発機構 (Organization for Economic Co-operation and Development)  
OEL - 職業ばく露限界 (Occupational Exposure Limit)  
OJ - 官報 (Official Journal)  
OR - 唯一の代理人 (Only Representative)  
OSHA - 欧州労働安全衛生庁  
PBT - 残留性 (Persistent)、生物蓄積性 (Bioaccumulative)、毒性 (Toxic) 物質  
PEC - 予測影響濃度 (Predicted Effect Concentration)  
PNEC - 予測無影響濃度 (Predicted No Effect Concentration)  
PPE - 個人用保護具 (Personal Protection Equipment)  
(Q)SAR - 定性的構造活性相関 (Qualitative Structure Activity Relationship)  
REACH - 化学物質の登録、評価、認可及び制限 (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals)  
に関する規則 (EC) No 1907/2006  
RID - 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制  
(Regulations concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Rail)  
RIP - REACH実施プロジェクト (REACH Implementation Project)  
RMM - リスク管理措置 (Risk Management Measure)  
SCBA - 自給式呼吸器 (Self-Contained Breathing Apparatus)  
SDS - 安全データシート (Safety Data Sheet)  
SIEF - 物質情報交換フォーラム (Substance Information Exchange Forum)  
SME - 中小企業 (Small and Medium sized Enterprises)  
STOT - 特定標的臓器毒性 (Specific Target Organ Toxicity)  
(STOT) RE - 反復ばく露 (Repeated Exposure)  
(STOT) SE - 単回ばく露 (Single Exposure)  
SVHC - 高懸念物質 (Substances of Very High Concern)  
UN - 国連 (United Nations)  
vPvB - 非常に残留性が高く、非常に生物蓄積性が高い (Very Persistent and Very Bioaccumulative)

#### データの主な文献参照及び出典

-

#### 関連するHフレーズのリスト

H225 引火性の高い液体及び蒸気。  
H226 引火性の液体及び蒸気。  
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
H312 皮膚に接触すると有害。  
H315 皮膚刺激を引き起こす。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319 重度の眼刺激を引き起こす。  
H332 吸入すると有害。  
H335 呼吸器刺激を引き起こすおそれ。  
H336 眠気又はめまいを引き起こすおそれ。  
H373 長期又は反復ばく露により臓器に障害を引き起こすおそれ。  
H400 水生生物に非常に強い毒性。  
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
EUH066 繰り返しばく露すると、皮膚の乾燥又はひび割れを引き起こすおそれがある。



本SDSの情報は、当社の現在の既知知識に基づいており、EU及び国の法律の要求事項を満たしている。しかし、使用者の作業環境は、当社の知識及び制御の範囲外である。本化学品は、書面による許可なく1項に規定された目的以外には使用してはならない。法令を遵守するのに必要な措置を講じることは使用者の責任である。本化学品の取扱いは、作業方法、危険有害性及び必要な安全注意事項について十分な説明を受けた18歳以上の者のみが行うことができる。本SDSに記載の情報は、健康及び安全の要求事項のみに関して本化学品を説明するものであり、特定の特性を保証しているとは見なすべきものではない。